

書名	盆栽ごよみ365日			著者名	塩津植物研究所／著			
出版社	誠文堂新光社	ISBN	978-4-416-62371-8		本体価格	¥2,200	発売	2025/4/8
内容	種木とは、盆栽になる前の草木のこと。著者の塩津丈洋、久美子夫妻は、日本で唯一の「種木屋」である塩津植物研究所を奈良県橿原市で営んでいる。研究所では実生、挿木、取木などさまざまな園芸技法を用い、種木から盆栽への仕上げまでを一貫して行っている。本書では、暮らしを見渡せば必ず出合うことのできる草木、例えばサクラやケヤキ、イチヨウ、マツなどの誰もが馴染みのある植物を中心に、およそ200品目・300種以上の植物を紹介。							

啓林堂書店外商部 担当:森川
TEL0743-51-1000/FAX0743-53-5151

書名	大阪ことばの謎			著者名	金水敏／著			
出版社	SBクリエイティブ	ISBN	978-4-8156-2471-2		本体価格	¥950	発売	2025/4/30
内容	今日、大阪弁はとても身近なことばである。「知らんけど」「めっちゃ」「わろた」等の大阪弁をごく日常的に使っている。他の都道府県の方言と比較して、大阪弁の存在感はすさまじい。大阪弁・関西弁は強烈な「役割語」としてその地位を確立してきた。さらにそこから派生して、さまざまな大阪人ステレオタイプが誕生した。いまなお、大阪弁・関西弁は全国の日本語話者に影響を与え続けている。私たちはなぜ大阪弁・関西弁的な表現をついつい使ってしまうのだろうか？その問いの先に、私たちのコミュニケーションを背後で支えている感覚が見えてくる。							